

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩スポーツセンター	評価対象年度	平成25年度
事業者名	株式会社多摩オールフラッツ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成22年12月1日～平成33年3月31日	所管課	多摩区役所 地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	30,005	28,602	28,077	34,431	28,588	36,056	28,495	30,974	24,179	25,833	22,332	31,033	348,605	
収支実績 (単位:千円)					予算		決算		差額					
	収入	指定管理委託費	121,119	128,209	7,090									
		利用料金収入	65,900	68,815	2,915									
		事業収入	47,500	62,971	15,471									
		雑収入	7,697	8,924	1,227									
		収入計	242,216	268,919	26,703									
	支出	管理運営費	160,630	175,867	15,237									
		光熱水費	45,000	46,267	1,267									
		保険料	960	991	31									
		その他	13,500	12,990	-510									
支出計		220,090	236,115	16,025										
収支差額						22,126	32,804	10,678						
サービス向上の取組	<p>◇テニスコートのナイター利用に関して、天候や利用者のニーズに合わせて時間点灯するなど臨機応変に対応している。 ◇繰り返し使用できるチャージカード(1,000円)と10回分の料金で11回利用できる回数券を設定し、現金での購入の不便さを解消するとともに、開催イベントにより利用料を無料にするなどサービス向上に取り組んでいる。 ◇多摩スポーツセンターの広報活動として、ホームページにより館内の空き情報などを利用者へ周知するなど情報提供に努めている。また市政だより、新聞折込、地域情報誌などを利用した情報発信により利用促進に取り組んでいる。 ◇水泳用品の販売以外にも利用者ニーズに応え飲料水や軽食の販売を行うとともに、フィットネスウェアやサプリメントの即売会も実施し、利用者的好评を得ている。 ◇自由提案事業として巡回バスを運行(小田急線生田駅・JR南武線中野島駅の2ルート)、平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前を加えるなどの変更を行い、継続して利用者の利便性向上を図っている。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	◇事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 ◇基本方針に基づき、快適な利用環境と公平、平等な利用を確保しながら市民サービスの向上に努めている。 ◇維持管理・運営業務について、モニタリングを実施し、自己評価を行うことで業務の品質維持と向上に努めている。 ◇利用者アンケート・ご意見箱の設置等を実施して、利用者からの意見・要望を事業へ反映できるよう努めている。			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	2(0.4)	2
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)	◇ジャグジープールにおけるレジオネラ属菌検出事案については、消毒洗浄や連絡体制に不備があり、ジャグジープールの一定期間(平成25年5月7日から同年5月29日)の使用制限により施設利用に影響が生じた。 ◇チャージカードや回数券の設定により現金購入の不便さを解消する他、イベント開催により利用料を無料にするなどサービス向上の取り組みを行っている。 ◇平成25年度の利用者数は平成24年度に比べ14,394人増加し、約4%の増加率となっており、利用者アンケート等により新規利用者をはじめリピーターの数も増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由)					
<p>◇「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、メイン会場としての運営や開催種目の実施等、円滑な事業の実施に大きく貢献した。</p> <p>◇スポーツ教室事業においては、平成24年度の5万4千人の受講者に対して、平成25年度は延べ6万2千人の受講者があり、約8千人の利用者増であった。</p> <p>◇小田急線生田駅とJR南武線中野島駅・京王線稲田堤駅を結ぶ2ルートの巡回バスを運行している。平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前をルートに加えるなどの変更を行い、継続して利用者の利便性向上を図っている。</p>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)				
◇適正に執行していると認められる。					

4. 総合評価

評価点合計	64	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今回の事業評価は4年次目の評価となるが、平成22年度は屋外施設のための運営であり、屋内施設を含めた運営は平成23年度からとなっている。

施設の運営に関しては、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすように努めていると評価する。

平成25年度の利用者数は平成24年度に比べ14,394人増加し、約4%の増加率となっており、利用者アンケート等により新規利用者をはじめリピーターの数も増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。

- ・地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、スポーツ教室についても、シニア向け体操教室や乳幼児と母親を対象とした教室などを行い、幅広い対象者へ参加機会を提供するなど積極的な事業展開を図っている。
- ・近隣小中学校の水泳授業に施設を提供し、学校と連携して施設の有効活用を図るなど、地域との連携にも努めている。
- ・温水プールの水抜き清掃に合わせて、着衣泳の体験と救助講習会を実施するなど施設を活かした研修会等を実施している。
- ・自主事業として巡回バスを運行し、利便性やサービス向上を図り、利用者に配慮した施設運営を図っている。

・「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、メイン会場としての運営や開催種目の実施等、円滑な事業の実施に大きく貢献した。

管理業務については、ジャグジープールにおけるレジオネラ属菌検出事案が発生し、消毒洗浄や連絡体制に不備があったことから、ジャグジープールの一定期間(平成25年5月7日から同年5月29日)の使用制限により施設利用に影響が生じた。利用者の健康被害は無かったものの、利用者の安全・安心に関して重大な事案であることから、施設管理の改善と連絡体制の是正を指示し、5月30日より使用を再開した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

市民の誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、スポーツを通じてのまちづくりと、市民の健康、体力の維持・増進やスポーツ事業の推進、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。また公平で平等な利用の確保と、経済性にも留意しながら公共性と効率性の両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営に努めること。

平成26年度については、多摩区のスポーツの拠点として、施設の運営において利用者のニーズをよりの確に把握し、サービス水準の向上に取り組むこと。

また、地域におけるスポーツ活動の積極的な支援等を行うとともに、区が実施するスポーツ事業への協力・連携など、区のスポーツ振興施策へ積極的に協力していくこと。

総合型地域スポーツクラブの支援については、新たな総合型スポーツクラブの設立に向けた取組を進めていくこと。

施設の維持管理状況について、セルフモニタリングなどを通じて見直しを行い、適切な維持管理状況にあることを確認するとともに、ジャグジープールにおけるレジオネラ属菌検出事案の再発防止に努め、利用者の安全を最優先とした業務を実施していくこと。